

令和 7 年 7 月 1 5 日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 遠藤 喜昭
記録員 駒延 法子
班 員 鈴木 照一
班 員 林 正人

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和 7 年 7 月 1 2 日（土）午前 1 0 時～	
2 会 場	天童市総合福祉センター	
3 意見交換のテーマ	市議会議員の定数、人口減少ほか	
4 意見交換の内容 （議会・議員及び市政 に対する意見、提言、 要望等）	参加者の意見等	取扱
	1 2 年前に議員の定数が22名から21名に削減された経緯と、その目的が議員の質の向上であったことが説明された。無投票を避けるため、そして志をもった議員が集まることで議会の質があがるという期待があったが、実際にその熱量をもった議員が集まっているかは判断できない。定数削減の検討時には、視察や市民アンケートも行われたが、市民の関心は低いという課題も浮彫になった。 定数を増やすべきという意見も一部の市民からでしており、多様な意見を議会に取り入れるためには議員数が必要だという考えも示された。 報酬については、議員の意欲向上を目的として、以前の39万円から40万円台に引き上げられたことが述べられた。	①

※取扱区分 ①要望・意見として何うもの
②執行部に伝えるもの
③執行部からの回答を要するもの

	2 議員の公約が達成されたかどうかの評価が市民にはわかりにくいという問題提起があった。議会だよりでは、公平性を保つため、個々の議員の活動詳細までは掲載できないが、議員個人が情報発信を努力する必要があるとの意見がでた。 3 議員のなり手不足が深刻化しており、特に周辺地域での候補者が見つかりにくい現状が語られた。これは、人口減少の影響が大きく、青年団や消防団といった地域の活動の担い手も不足していることが指摘された。議員という職の魅力が低下していること、特に決定権の少なさや報酬の少なさがその一因として挙げられました。地域活性化のためには、子育て世代が住みやすい街づくりや、女性が働きやすい企業の誘致などが必要であるとの意見がでた。 天童市はこれまで、ベッドタウンだったが、最近では工業団地の整備も進められていることが話題になった。	① ①
--	--	-------------------

※取扱区分 ①要望・意見として伺うもの
 ②執行部に伝えるもの
 ③執行部からの回答を要するもの